

5月26日は県民防災の日

昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震から今年で25年。

日ごろの備えが、わが家、わが町を守ります。
わが家の備えを万全に！

家屋やブロック塀の点検や補強、室内では家具類の転倒防止など、家族みんなで確認してみましょう。

防災は 向こう3軒両隣りから！

高齢者や障害者などを助け、被害を最小限に抑えるため、地域の協力体制や自主防災組織を整えましょう。

3日分の食料と飲料水を備えましょう

食料や飲料水などは3日分を準備しましょう。水は1人1日3リットルが目安。懐中電灯やラジオも忘れずに。

安否の確認は171ヘダイヤル

安否の確認には、「災害用伝言ダイヤル(171)」や携帯電話各社の「災害用伝言板サービス」のご利用を。

防災ネットで手軽に災害情報！



「防災ネットあきた」は、事前に携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録(無料)しておくと、災害情報などを、防災対策課からEメールでお知らせする情報提供システムです。

伝達情報

避難勧告などの避難情報
有害化学物質漏れ 床下以上の浸水
土砂崩れ 大規模火災 など

登録は秋田市ホームページで

<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds/system/>

携帯電話は <http://www.city.akita.akita.jp/gn/ds/sr.htm>

問い合わせ

防災対策課 (866)2021

3つの連携で地域防災を研究

産官学

秋田工業高等専門学校が中心となり、民間の建築関係団体、秋田市と連携しながら、雪国での地震対策を研究しました。

研究テーマは「地震による道路閉塞や住宅倒壊などの被害が、積雪期ではどのように発生し、どのような対策が必要か」。飯島地区などで道路の危険個所を把握し、耐震診断などを行って、研究を進めていきました。また、住宅の耐震診断を、(社)秋田県建築士事務所協会中央支部や市建築指導課と協力して実施するなど、研究はさまざまな面で産・官・学が連携して行われました。

調査・研究の結果を、地域の自主防災学習会などで発表し、地域の防災意識向上に大きく貢献しました。この活動は「秋田市耐震改修促進計画」にも盛り込まれています。

研究の先導役を務めた、同校の水田敏彦准教授は「今回の調査を除雪の優先順位の決定や、住宅の耐震改修の促進など地域防災に役立つ研究に発展させたい」と話してくれました。



学生たちの研究は、内閣府などが主催した「防災教育チャレンジプラン」で、防災教育優秀賞を受賞しました(左が水田准教授)

移動にサポートが必要な場合は 民間救急車や福祉タクシィをご利用ください

病院までの移動や障害者の通院など、救急車を呼ぶほどではない場合は、消防本部認定の患者等搬送事業者(いわゆる民間救急車)や、福祉限定許可事業者(福祉タクシィ)などをご利用ください。

民間救急車…転院や入退院などに

- キングタクシィ (864)7712
- 秋田合同タクシィ (864)1227
- あさひ自動車 (834)5555
- 国際タクシィ (833)5931

福祉タクシィ…障害者・要介護者の通院などに

- 介護福祉タクシィ ゆうゆうサポート(株) (880)6776 ハッピー秋田中央ヘルパーステーション (867)7180 ひまわり介護タクシィ (864)1498 福祉介護タクシィつくしんぼ (868)3756 (有)千秋ケアサービス (833)0556

消防本部救急課 (823)4019

サービスの内容や料金は、直接事業者へお問い合わせください。

自転車も交通ルール守ってね！



5月は自転車月間。自転車も車両ですので、交通ルールとマナーを守って運転しましょう。

特に、自転車に乗りながら携帯電話を使うのはとっても危険です！絶対にやめましょう。

6月2日(月)から申請受け付け！

在宅の子育て家庭にクーポン券

ふだん、おうちで子育てをがんばっている家庭へ、クーポン券をプレゼントします。

クーポン券は、対象となるお子さん1人につき1セット(16枚)。3つの中から好きなプランをご利用ください。

問い合わせ
児童家庭課
(866)2094
ファクス(866)2465

所得制限はありません

対象は、平成20年4月1日以前に生まれた、保育所(園)や幼稚園に入所(園)していない、就学前のお子さんがある世帯です。

6月2日(月)から受け付けを始めます

印鑑と健康保険証(住所とお子さんの生年月日を確認します)を持って、下記の窓口申請してください。クーポン券は、申請時にその場でお渡しします。申請はお早めどうぞ。

申請窓口

- ▶ 児童家庭課(福祉棟2階)
- ▶ 子ども未来センター(アルヴェ5階)
- ▶ 土崎・新屋支所
- ▶ 河辺・雄和市民センター
- ▶ 公立保育所(15か所)



「ゆっくりプラン」を利用できる施設、利用方法、「おでかけプラン」の日程やコース、「絵本プラン」で引き換えできる絵本や取り扱い書店など詳しくは、クーポン券といっしょにお渡しするリーフレットでお知らせします。



楽しい絵本が60冊！ 各市立図書館、児童家庭課、子ども未来センター、取り扱い書店では、「親子の絵本プラン」で引き換えできる絵本60冊すべてを常時展示しています。絵本は市立図書館ホームページでも検索できます。
<http://www.lib.city.akita.akita.jp/>

ゆっくりプラン

在宅ママ・パパの

クーポン券1枚
＝一時保育利用料の500円相当

58か所の保育施設で

一時保育サービスが利用できます。理由は特に必要ありませんので、お買い物やリフレッシュなどにもご利用ください。

各施設ごとに受入枠がありますので、事前に予約してください。

おでかけプラン

わんぱくキッズの

クーポン券4枚＝親子2人

小学校区ごとに2回開催

親子で貸切バスで出かける日帰り遠足です。NPO法人(あい、あきたNPOコアセンター、子育て応援seed、あきたNPOセンター)との協働により、小学校区ごとに貸切バスを運行し、楽しい企画を実施します。



親子の絵本プラン

クーポン券1枚＝300円

取り扱い書店18店！

市立図書館がおすすめする絵本(全60冊)の中から、好きな本と引き換えできます。クーポン券12枚まで利用できます。

1歳6か月児健診の会場でも引き換えできます。

なお、健診会場ではクーポン券は交付しません。



写真の絵本▶ まかせとけ・作/三浦太郎・偕成社
かたあしのひよこ・作/水谷章三、絵/いとうひろし・ほるぷ出版 どうぞのいす・作/香山美子、絵/柿本幸造・ひさかたチャイルド たのしい!きりがみ・著/中村頼子・大泉書店 三びきのこぶた・訳/瀬田貞二、画/山田三郎・福音館書店